

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、別掲の項目におきまして、定期的な見直しにともない検査内容の一部を変更させて頂きたくご案内いたします。
誠に勝手ではございますが、弊社事情をご賢察のうえご了承のほどよろしくお願い申し上げます。
敬具

記

変更項目および変更内容

※ 詳細につきましては、次ページ以降の内容をご参照願います。

変更期日

平成27年4月1日（水）受託分より変更

保健科学グループ



株式会社 **保健科学研究所**

本社	横浜市保土ヶ谷区神戸町 106	TEL 045-333-1661
仙台支社	仙台市宮城野区扇町 1-1-6	TEL 022-236-9345
中部支社	名古屋市西区則武新町 2-20-17	TEL 052-582-3201
大阪支社	豊中市原田中 1-2-3	TEL 06-6843-5622
福岡支社	福岡市博多区山王 2-14-34	TEL 092-452-0851

新潟臨床検査センター
保健科学東日本
日本ノーバメディカル研究所
いかがく
組織科学研究所
ケーアイエー細胞病理研究所
カスタムメディカル研究所

遠州予防医学研究所
日本厚生団衛生科学研究所
湘南医化学検査センター
小田原衛検
相模医研
東部メディカルセンター

平成27年4月1日(水)受託分より変更

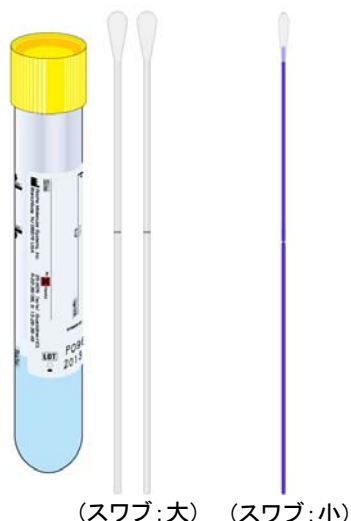
項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	検査案内書掲載ページ
7380	クラミジア・トラコマチスDNA[PCR] 《子宮頸部擦過細胞》	容器	詳細については、下記をご参照願います。 従来品に対して、スワブ(小)が1本追加されます。 容器コード:エ1		スワブ(小)が追加された改良容器に変更します。 ※1	57
7387	淋菌DNA[PCR] 《子宮頸部擦過細胞》	容器				58
7504	淋菌/クラミジア・トラコマチス同時測定DNA[PCR] 《子宮頸部擦過細胞》	容器	<ul style="list-style-type: none"> コバスPCRメディア スワブ(大)2本 スワブ(小)1本 	<ul style="list-style-type: none"> コバスPCRメディア スワブ(大)2本 		
5174	癌胎児性フィブロネクチン定性	測定試薬 容器採取方法	<p>詳細については、次ページをご参照願います。</p> <p>従来品に対して、濾過フィルターなどが追加され、検体の抽出、濾過作業が必要となります。</p> <p>容器コード:マ2</p> <ul style="list-style-type: none"> 検体保存チューブ 綿棒 検体濾過フィルター 検体抽出容器 	<p>詳細については、次ページをご参照願います。</p> <p>容器コード:マ</p> <ul style="list-style-type: none"> 検体保存チューブ(抽出液入り) 綿棒 	<p>現行試薬の販売中止に伴い変更します。容器、採取方法以外の変更はありません。</p> <p>※2</p>	119

※1 順次、変更可能です。

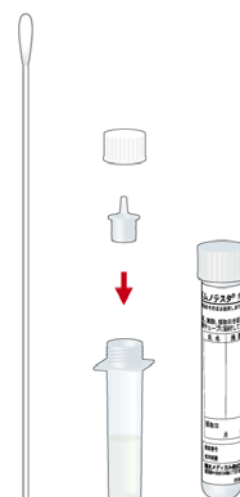
※2 測定試薬の専用容器となるため、4月1日以降の受託分から変更願います。

▼ 変更後の新容器

〔 淋菌・クラミジア[PCR]擦過細胞専用容器 :エ1 〕



〔 癌胎児性フィブロネクチン専用容器:マ2 〕



(採取方法の変更箇所)

- スワブ(大)を1本使用し、子宮頸管とその周辺の過剰な粘液を拭いとります。
- 検体採取には、スワブ(大)若しくはスワブ(小)のどちらか1本を使用します。

※ 使用しなかったスワブ及び手元に残った柄は廃棄してください。

▼ 現試薬と新試薬の比較

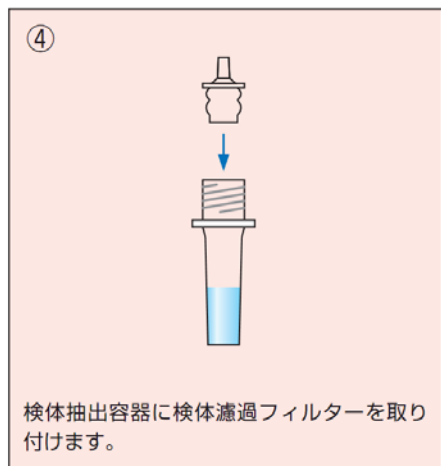
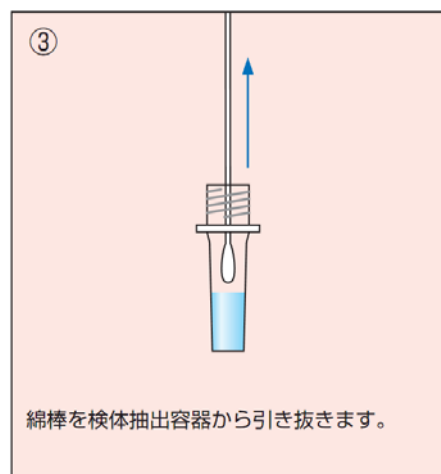
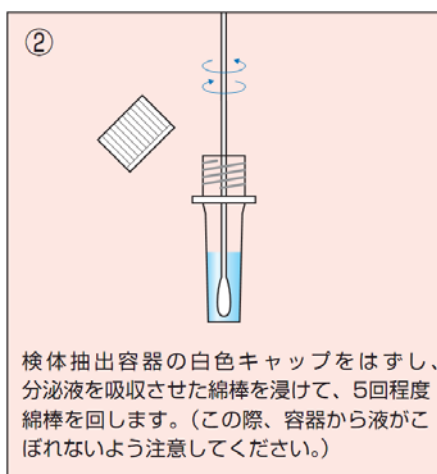
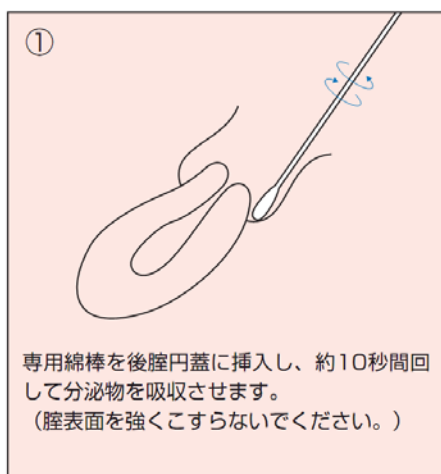
[5174: 癌胎児性フィブロネクチン]

n = 70		従来試薬		合計
		(+)	(-)	
新試薬	(+)	40	2	42
	(-)	0	28	28
合計		40	30	70

判定一致率: 97%

(自社検討資料)

▼ 癌胎児性フィブロネクチンの新しい検体採取方法と提出方法



- 注意事項
- ・ 検体の採取は腔洗浄前に行ってください。
 - ・ 検体中に精液が混入しているときは、その検体は使用しないでください。
 - ・ 検体中に0.1%以上の血液混入が認められた場合、正確な結果が得られない可能性があります。